

● 消防団第5分団第1部が埼玉県消防操法大会に出場

6月29日(日)に開催された埼玉県消防協会狭山入間支部消防操法選考会で、狭山市消防団第5分団第1部(奥富地区)が優勝し、第28回埼玉県消防操法大会に出場します。皆さんの応援をお願いします。  
開催日8月23日(土) 場所埼玉県消防学校(鴻巣市) 問合せ防災課へ内線3697



● 積極的な防犯活動に感謝状

日ごろの積極的な防犯活動が評価され、富士見一丁目自治会・宮地自治会・入曾第2区自治会に対し、埼玉県防犯のまちづくり推進会議から感謝状が贈呈されました。おめでとうございます。  
左から、早川龍一富士見一丁目副自治会長、仲川幸成狭山市長、安達勝宮地自治会長、宮野勇入曾第2区自治会長  
問合せ交通防犯課へ内線3691



● 気象警報などを即時ツイート!

8月1日から、狭山市を含む地域に、大雨や雷、暴風、大雪の警報などが発表されると同時にツイッター上に自動発信できるようになりました。台風やゲリラ豪雨など、これからの季節に起こりやすい急激な気象の変化は、日常生活はもちろん、レジャーやイベントの計画にも大きな影響を及ぼします。情報をいち早く知ること、万一の被害を未然に防ぐことができるようになります。ぜひ、ご活用ください。  
<https://twitter.com/citysayama>  
問合せ広報課へ内線7161

いつ起こるか分からない大災害に備えて

8月30日(土)は防災訓練に参加しよう



8月30日(土)、狭山市総合防災訓練を実施します。安否確認、避難所開設など実際の災害発生を想定した訓練です。災害時の行動を実際に行うことで、日ごろの防災準備を考えることができるよい機会です。ぜひご参加ください。

立川断層帯を震源とする大地震を想定して実施  
▼開催日時8月30日(土)、9時〜12時30分 ※中止の場合は、29日の16時から30日の7時ごろに防災行政無線で放送  
▼訓練実施地区など  
自治会個別訓練／入間川地区、堀兼地区、奥富地区、柏原地区、水富地区、新狭山地区、狭山台地区

自治会連携訓練(会場)／入曾地区(南小学校)  
▼訓練内容  
自治会個別訓練／シエイクアウト訓練、安否確認訓練、避難所開設、運営訓練、初期消火訓練など  
自治会連携訓練(手話)／シエイクアウト訓練、安否確認訓練、避難訓練、避難者名簿作成訓練、炊き出し訓練、防災学習訓練、簡易トイレ組立訓練など ※英語通訳もあり

【訓練想定】  
平成26年8月30日(土)、午前9時00分、立川断層帯を震源とする地震が発生、マグニチュード7.4を観測し、狭山市では震度6弱の揺れを記録した。市内でも激しい揺れを観測し、家屋の損壊やライフラインの機能停止、この地震により負傷者も多数発生している模様

非常持出品リスト

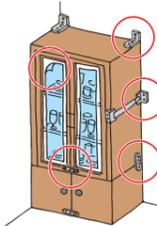
- 水(飲料水は一人1日3L、3日分を目安に備蓄。洗濯、トイレなどの生活用水は、浴槽にためておく)
- 食料(米や缶詰、レトルト食品、はし、コップ、皿、高齢者や乳幼児の食料など)
- 懐中電灯(一人に1個)
- 燃料(卓上コンロ、ガスボンベ)
- ラジオ(予備電池は多めに)
- 貴重品(現金、権利証、預金通帳、印鑑、健康保険証、免許証など)
- 医薬品(かぜ薬、傷薬、胃腸薬、包帯など)
- 衣類(下着、上着、靴下、軍手、タオル、防寒着など)
- 日用品(洗面具、ロープ、ポリ袋、ティッシュ、筆記用具、食品用ラップ、缶切り、生理用品など)
- 携帯電話(充電器、バッテリーなど)



◆シエイクアウト訓練(1分間)  
地震発生時に自分を守る手段を身につける大切な訓練です。9時にサイレンが鳴ったら、次のとおり安全を確保してください。  
①体勢を低くして地面に近づく  
②固定された机やテーブルの下に入り頭を守る  
③揺れが止まるまで動かない  
※火災のサイレンとお間違いないようご注意ください



③地震による死傷者の多くは、家具の転倒や物の落下によるものです。家具の配置を見直して安全なスペースを確保し、しっかりと固定しましょう  
④地震の際には、水道や電気などのライフラインの供給が中断したり、食料、日用品の流通機能が途絶えることが想定されます。いざという時のために、日ごろから非常持出品の準備をしておきましょう



◆災害時に頼れる地域の助け合い  
個人や家族だけでは災害への備えに限界があります。けがをしたとき、閉じ込められてしまったとき、大切なのは地域や近隣住民の協力です。もしものときに助け合えるよう、日ごろからのつながりを作っておくことが重要です。

家族の安否確認のために

災害発生時は電話などがつながりにくい状態になります。いち早く家族の安否を確認できるよう、被災時に落ち合う場所や安否情報の取り次ぎをしてもらう遠方の親戚などを決めておきましょう。また、NTT災害用伝言ダイヤルや携帯電話会社の災害用伝言板を活用する方法もあります。

◆災害用伝言ダイヤル(171)  
被災地とその他の地域を結ぶ「声の伝言板」です。「171」をダイヤル → 録音は「1」を、再生は「2」をダイヤル → 被災地の方の電話番号(携帯電話の番号は不可)を、市外局番からダイヤル → 録音(30秒以内)・再生

◆災害用伝言板  
携帯電話のパケット通信サービスを利用して、自分の安否情報を登録するシステムです。携帯電話から災害用伝言板にアクセス → 「登録」を選択 → 被災状態を選択(任意で100文字以内のコメントが入力できます) → 送信

自分で自分を守るためにできること  
自分や家族を守るのは日ごろの備えです。起こってからでは間に合いません。できることから一つずつ準備をしていきましょう。  
①大震災が発生しても、家族がかわらずに行動できるように、ふだんから避難場所や被災時に持ち出す物などを話し合い決めておきましょう  
②住宅の倒壊は、住人に大きな被害を与えます。耐震診断を行い、必要な場合は適切な補強を行いましょう  
※10月25日(土)、無料の耐震診断を行います。詳しくは、13ページをご覧ください

地域の方とのコミュニケーションづくりのためにも、ぜひ防災訓練にご参加ください。  
問合せ防災課へ内線3695